

I. 研修について

当科の診療領域は、血尿、蛋白尿、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎(RPGN)、急性腎不全、慢性腎不全および腎症を合併した全身疾患、電解質異常など腎疾患全般に及ぶ。

従って、腎臓だけでなく、全身をきちんと診察することも重要であり、他の科と連携をとりながら、細部にわたる丁寧な診療を行っている。腎臓疾患にとって、最も重要なポイントは「早期発見を心掛け透析に至る前に対処する」ということである。そのためには、血尿または蛋白尿が発見されたとき、無症状であることに安心して来院を遅らせることのないよう患者に啓発することを第一とし、例え腎機能の低下が認められた場合でも、疾患をそれ以上進行させないために、あらゆる努力を怠らないよう心掛けている。

II. 研修の到達目標

透析開始時や終了時の処置、透析管理、シャント手術、シャントに対してのバルーンによる血管内治療等が、指導医の指導のもとでできるようになること。また、点滴メニューや食事療法の考え方について理解すること。

III. 医師数[うち臨床研修指導医数] (平成 29 年 4 月現在)

- ・常勤医師 5 名 [1 名]
- ・非常勤医師 1 名

IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成 29 年 4 月現在)

- 日本内科学会認定内科医(4 名)・総合内科専門医(2 名)・指導医(1 名)
- 日本腎臓学会専門医(3 名)・指導医(1 名)
- 日本透析医学会専門医(3 名)・指導医(1 名)
- 日本老年医学会専門医(1 名)・指導医(1 名)
- 日本高血圧学会専門医(1 名)・指導医(1 名)

V. 施設認定

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本老年医学会認定施設
- 日本高血圧学会認定施設

